

赤い靴通信 401号

昨秋、私はアメリカの友人を亡くしました。家族でイギリス旅行中の事だったそうです。その様子が今わかったというのは、深い封筒の底に奥さんの悲しみの手紙があったからです。探し物をしていてうちに見つかったのですが、それが悲惨ではなく、孫も一緒の大騒ぎの楽しい旅先で、一人で乗った介護用のオート3輪が倒れたのだそうです。でも家族一同に見守りの中でかえって良かったと手紙には書いてありました。得てして探し物は違うものを探してくることもあるものです。

彼はアメリカの海軍に居た時、日本大学に留学していたアメリカの女性と結婚したのです。私たちは当時からよき友人でした。やがて、40年近くいた海軍をリタイヤすることになって、私は横須賀ベースのオフィサースクラブにご招待を受けました。冒頭、彼は海軍に入った動機を話し始めました。「JOIN THE NAVY SEE THE WORLD」この世界一とも言えるキャッチコピー(海軍に入って世界を見ようと言う意味)にだまされて海軍に入ったと周辺の笑いを買ったのです。そして、この日本で世界一美しい女性を奥さんにした。また横浜、横須賀を通じて実に多くの日本人と知り合った。皆、親切で知的、マナーに富んだ日本人を大好きになった。このコピーは自分のためにあったと今は思っている。皆に言いたい「JOIN THE NAVY SEE THE JAPAN」これだけで自分は満足ですとスピーチをし、大きな拍手とピーと言う笛で階段を降りみんなに日本式の感謝のお辞儀をしてステージ(舟に見立てた)を後にしました。素晴らしい最後でした。

日本や日本人のマナーを褒める外国人は多いです。昔から外から帰ってきたら「うがい」をしない、手を洗わない、玄関で抜いた靴は前向きに並べないなど口うるさく言われて私達は育ちましたが、これがいいと日本人を知る外国人は言います。

さて、今から60年前の事ですが、海外旅行自由化前、日本からの旅行者には会えない頃に、私は日本で出会ったアメリカ人の家に先々お世話になった時のことです。珍しい客が日本から来ていると言って新聞記者を呼んだ家がありました。写真を撮られたりし、コラムもと言われました。「ミスター松永はシアトルワールド博覧会に飾られる生け花の日本トップの勅使河原蒼風先生の助手として来ている。これは受ける」といわれ、「明後日は君のデモンストレーションを午後2時よりウインカントリッククラブホールで行おう。流派は自由、花、花器は各人持参、費用は10ドル」という不思議な広告とミスター松永の写真は翌日の新聞に掲載していたのです。もう戻れませんが、まだ日本人もいないのかと聞き直りました。勅使河原家元は4日後に到着なので大丈夫だし、8年前に私は先生として草月流の師範の資格を取っていましたし、家元や諸先生との交流もとれていました。

さて、当日のカントリッククラブに昨日の新聞記者と行くと、受講者の皆さんが私を見つけて「先生」と呼ぶので思いきりニコニコしてごあいさつを返したのです。好感度で迎えてくれるなど感じたので、今日はユーモアたっぷりで行くぞと考え、これどうもいっただらアメリカで生け花の先生をするのも考えの中に浮かびました。手前味噌ですが、指導は得意と思っていました。当時軍人のご主人と来ていた奥さんが日本の先生に習い始め「生け花」がアメリカで市民権を取りそうなどころまで来ているので、それも悪くはないと考えていました。ホールに集まった方は40人でした。日本の先生もあまり使っていない回転盤が置いてありました。以前もデモンストレーションがあって、ほとんどの人は嶮山とか日本製のはさみも持っていたのです。まず草月流の真・副・控のトライアングルを説明し、人のまねではなく、かまわず自分流に活かすねとお願いと申し上げました。時間は4時間というで大変、まず私が活かした

「第33期赤い靴ジュニアコーラス定期演奏会」
9/12(土) 横浜市開港記念会館
14:00(13:30開場)~17:00
ATF・青隊・赤隊I・II・III
横浜☆男声合唱団

「第14回中区ダンスフェスティバル2020」
9/21(日・祝) 関内大ホール
12:00(12:30開場)~17:00
入場料 600円



【左・写真】
8月21日
第14回東六忌
ピアノ演奏
野中 正 先生

今後のスケジュール

- ★9/12(土)
第33期
「赤い靴ジュニアコーラス定期演奏会」事前登録制
横浜市開港記念会館
14:00(13:30開場)~16:00
出演：赤い靴ジュニアコーラス
ATF・青隊・赤隊
横浜☆男声合唱団
- ★9/21(月・祝) 事前登録制
中区ダンスフェスティバル2020
関内大ホール/入場料600円
12:00(11:30開場)~17:00
- ★10/9(金) 延期開催
横浜シネマパラダイス
～懐かしいヨコハマの風景と
流行の映画音楽～
横浜みなとみらい大ホール
15:00(14:20開場)
新日本フィルハーモニー
ナビゲーター 池辺晋一郎(作曲家)、
ドラマトウルク 中村高寛(映画監督)、
ゲスト 松永 春(赤い靴事業団・団長)
- ★10/17(土)・10/18(日)
オペラ「トゥーランドット」
神奈川県民ホール・大ホール
14:00開演
出演：赤い靴ジュニアコーラス
※赤い靴関係者割引があります
- ※9/13(日)朗読劇「ことばの贈り物」
は延期になります。詳細は後日。

ほうがいいのです。回転盤を強く回すと一周り移動します。「これが自分の花です」というと歓声が起きました。先ず、先生としてのすばらしさを出せました。それから、40人分を直すのは大変ですが、花のスペアを2、3もって抜いたり横にしたりすると思いきり変わるのです。「これはミスター松永のマジックです」と申し上げるのです。皆自分の花を先生が触るごとに変わるのにまいってしまふのです。最後に「何か聞きたいことはございませんか」という質問です。ある生徒が「家元が一番とすると先生は日本で何番の方ですか」という質問です。私はすぐ答えました。「もちろん2番です。「今日は2番の先生に自分の生け花を見ていただいて本当に良かった」「そのように思うと幸せではありませんか」「2番の先生はやがて一番に一番近いところにありますから」と解ったようなことを言います。私の生け花デモンストレーションは成功裡に終わりました。皆が帰ると新聞記者がきて、私に決算書のような紙を見せ、会費400ドルとそれ以上くれた人とトータル490ドルになり、その中から私に160ドルが支払われ車で帰りましたが、初めて営業だったとわかってアメリカ的だと知ったのです。因みに当時の1ドルは360円の時代でした。その1週間前、私はワシントンDCのメリアットモーターの蒼風家元のデモンストレーションのお手伝いをしていました。助手の女性・10名は素晴らし和服を着ていました。皆、日本からの著名な花の先生達です。私はと言うと男一人、普段着で裏からバケツで水を運ぶ役でした。一番古いお局先生から「絶対、人が見えるステージに出てはだめよ」と言われていました。シヨウが一段落したので、私は友人の家に行くためにバスに乗る必要があった失礼したのです。その後、シアトルの会場で諸先生にお会いしましたが、「松永さんが先に帰った後、大変だったのよ」というので聞くと「素晴らしい会場をお借りした後、皆で会場を片づけるのが当たり前の私たちだけと綺麗にしたことが、大変だったのよ。体格が大きな女性が来て、片付けはわたしたちの仕事よ、それをあなたたちがとってしまっただけから、今日のギャラを払ってもらいたいとホテルの通訳を介してきたのよ。仕方が無く払ったのだけど、アメリカって不思議なところね。大した金額じゃなかったけれど」と言われ、「郷に入れば郷に従え」という言葉もあるしね」と私が返すと「解っていれば言ってくればいいじゃない」と返されました。そんな時、その朝お会いした領事館の方が私を見つけ声をかけてくれました。スペースニードルの式典に商務長官が来場するので宜しかったら一緒に出演が印象的でした。後年、ジュニアコーラスを立ち上げる時の原点の光景になりました。今や横浜を代表する児童合唱団となり、活躍しています。今回は33期定期演奏会を迎えますが、コロナ禍の中で新しい様式で歌います。そして、横浜☆男声合唱団が友情出演いたします。思い出深い定演になるでしょう。 2020・9・5 団長 松永 春